ノートの書き方（例）【３年生以上】

- 基本的に、見開き２ページ（余っても、次時は次のページを使う）
- 過程ごとに、１、２行空けて、余裕をもって使う。
- 線を引く、筆算や分数を書くときには、定規を使う。

分数の表記のしかた

$$\frac{3}{5} + \frac{1}{2} = \frac{11}{10}$$

日付・ページ

10/12　P.114

【問題】
鉛筆で線を引く

㋷ 60まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何まいになりますか。

分かっていることは直線
たずねられていることに波線
答えの単位は〇で囲む

式 60 ÷ 3 = 20

答え 20まい

【めあて】
青で線を引く

�め 60 ÷ 3 の計算のしかたを考えよう。

【見通し】

㋕
- 図 → Ω を 3 人 書く。
- 式 → 6 ÷ 3 をする。
- お金 → ⑩ のまとまり

【考え】

㋕ 60 ÷ 3 の計算のしかた

1人	Ω	Ω	Ω	
	⑩	⑩	⑩	10のまとまり
20まい	⑩	⑩	⑩	

㋕ 式

6 ÷ 3 = 2

10まいのたばが、6たばあって、それを3人で分けると考える。

1人分は、2たばになるから、10まいのたばが、2たばで、20まいになる。

【まとめ】
赤で線を引く

㋷ 60 ÷ 3 の計算は、10をもとに考えると、今までのわり算と同じように計算できる。

△ ① 40 ÷ 2 = 20　② 80 ÷ 4 = 20

③ 90 ÷ 3 = 30　④ 70 ÷ 7 = 1 10

【ふり返り】

㋶ 何十 ÷ 3 や何十 ÷ 4 などのわり算は、10のまとまりで考えると、何 ÷ 3 や何 ÷ 4 でできることが分かりました。20 × 3 を 2 × 3 を使ってやったことと、にていました。